

減措置を実現させた。同プランは「持続可能な制度」をうたい文句として...

(4) 口腔と咀嚼の重要性を訴え、歯科医療改善をめざす運動

5. 医療技術の研鑽と経営を守り、医院の活性化をめざす活動

(1) 臨床研究会、社保講習会、税務や新規開業医講習会、各種相談活動

会員のニーズである新点数や社保、臨床・学術、経営・税務、新規開業医などの講習会は、2005・2006年度で108回開いた。今後も「会員が魅力を感じる」

6. 社会保障の充実と平和な社会に向けて、各選挙を要求実現の場に向ける

安倍政権がめざす「美しい国」は、社会保障を切り捨て、格差を容認し、政府にも言えぬ共謀罪、憲法を変えて「戦争のできる国」をつくることにある。社会的歪みを正すために共闘団体と

も連携した宣伝、反対運動に取り組む。また、憲法9条・25条を守る「大阪医科・歯科九条の会」と協力して、唯一の被爆国として平和・民主主義国家を守る運動を進め、とりわけ教育基本法の具

体化を許さない取り組みを強める。「核戦争に反対し、核兵器の廃絶を求める医師・医学者のつどい」が9月23・24日、京都で開かれる。平和と社会保障の充実はずの両輪である。

咀嚼が様々な疾病予防、療養改善に役立つことが、研究によって明らかになっている。食の安全・安心から口・歯の大切さ「より良く食べる」ことは「よりよく生きる」ことを国民に知らせるため、保団連が発行した『より良く食べるはより良く生きる』パンフレットを会員や共闘団体、保健所などで普及し、健康教室の開催を呼びかけ、口腔と歯科医療の大切さを国民にアピールする。

同時に地域住民が医療機関に受診しやすい市町村の独自施策が求められている。協会は府民の口腔の健康を守り歯科医院への通院を啓発する立場から、健診・健康教室活動を旺盛に展開する。府を始め各市町村・議会へ、歯科健診の重要性を訴え、健康増進法に基づく健診の拡充を求め、同時に、2次・3次医療、障害者医療の確保を求め、公的病院での歯科医療提供体制を拡充させる運動に取り組む。

第48回定期総会 5月27日(日) 午後0時30分～6時45分 三井アーバンホテル大阪ベイタワー (JR環状線・地下鉄中央線「弁天町」駅直結) 「豊かな脳を育てる食脳学」 大島 清先生(京都大学名誉教授) 記念講演 午後0時30分～2時40分 総会議事 午後3時～5時

(2) 地区活動の活性化と会員の親睦を深める活動

(3) 休保・年金・労働保険・融資制度は、開業医会員と勤務医会員ともに利用しやすい制度として喜ばれている。休保保障制度は、制度の維持と継続した運営ができるよう保団連とともに運動していく。また、新規開業業者・既開業者ともに融資を受けられやすいよう提携先金融機関の拡大に努める。

(4) 女性の活動に

(1) 38000会員のめざす取り組み

(3) 休保・年金・労働保険・融資制度は、開業医会員と勤務医会員ともに利用しやすい制度として喜ばれている。休保保障制度は、制度の維持と継続した運営ができるよう保団連とともに運動していく。また、新規開業業者・既開業者ともに融資を受けられやすいよう提携先金融機関の拡大に努める。

(5) 執行体制の強化

7. 38000会員の達成と地区活動の活性化、組織強化の活動

会員目標は2009年3月末までに38000人をめざし、取り組みを強める。開業医はもちろん、勤務医や研修医にも魅力のある活動を進める。

自家共済制度としての休保・年金・労働保険・融資制度は、開業医会員と勤務医会員ともに利用しやすい制度として喜ばれている。休保保障制度は、制度の維持と継続した運営ができるよう保団連とともに運動していく。また、新規開業業者・既開業者ともに融資を受けられやすいよう提携先金融機関の拡大に努める。

以上の方針・重点課題に責任を持ち決定を積極的に執行する理事を選出し、新しい執行体制を確立する。理事会と事務局は理事長を中心に一致団結して会務運営にあたる方針・重点課題を推進するために執行体制を整備する。

成功へ向け取り組みを進める。2005年総選挙の自民党勝利が構造改革を強く推し進め、過去最大のマイナスイノベーション医療改革関連法を許した。また、社会保障制度の連続改革、庶民増税、様々な格

差を広げた。さらに、その数を頼りに憲法の改悪を狙っている。診療報酬・患者負担増など、それぞれの問題で改悪を推進したのはどの政党で誰なのかなど、法案への態度や実績を明らかにし、判断を下せるよ

う会員に情報を提供する。7月・参議院、11月・大阪市長、2008年1月・大阪府知事―選挙が行われる。それぞれの選挙を要求実現の場と位置付け、争点を会員に知らせていく。

